



# しあわせおっぱい通信



病院 HP

岐阜県総合医療センター 9階西（小児科）病棟 Vol.47 2023年 冬号



今回のテーマは、  
『ヒトメタニューモウイルスと母乳育児について』  
です。

## ヒトメタニューモウイルスって何？

乳幼児の間で多く流行する風邪ウイルスの一種です。大人にも感染します。

特徴的な症状は、1週間ほど続く非常に強い咳です。また、4、5日続く38度～39度の高熱や、鼻水といった症状があります。

最近、当院の小児科病棟に入院される呼吸器感染症の患者さんでもよくみられるウイルスで、特に乳幼児では重症化しやすいため、注意が必要です。



## お母さんがヒトメタニューモウイルスに感染した状態で、母乳をあげても大丈夫？

ヒトメタニューモウイルスは、咳やくしゃみで吐き出されたウイルスが付いてしまったり（飛沫感染）、気がつかないうちにウイルスに触ってしまったり（接触感染）することで感染が広がります。

そのため、母乳を介してウイルスが赤ちゃんに感染する心配はありません。

しかし、授乳中は赤ちゃんとお母さんの距離が近くなるため、お母さんの咳やくしゃみが赤ちゃんにあたらないように、マスクをつけて授乳しましょう。



## 赤ちゃんがヒトメタニューモウイルスに感染している場合、授乳中に注意することは？

赤ちゃんがヒトメタニューモウイルスに感染している場合、咳や鼻水が出て、呼吸がしづらい状況にあることがほとんどです。そのため、上手におっぱいを吸うことが出来ず、普段より母乳の飲みが悪くなったり、赤ちゃんの機嫌が悪くなったりすることが考えられます。

咳や鼻水が落ち着いているタイミングで、普段より時間を短くして授乳してみましょ。その分、1日の授乳回数を多くするなど、赤ちゃんの様子や機嫌に合わせておっぱいをあげてみましょ。



外出時は必ずマスクを装着し、手洗い・うがいをしっかりと行うことで、

感染症にかからないように予防しましょう。

